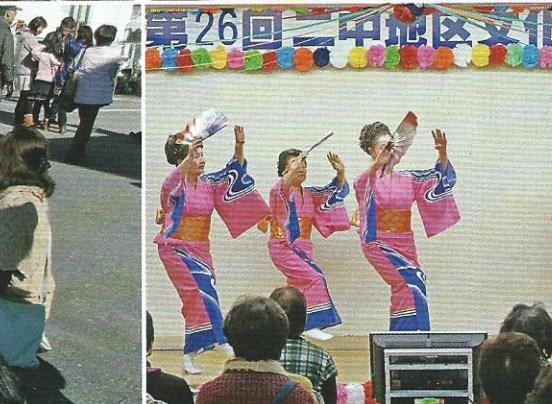


36号
平成25年2/1
二中地区市民委員会
文化・広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553



【ドキュメント 文化祭】
二中地区コミュニティセンター所長 浜田 衛

11月25日 快晴、気温4度、文化祭

日和。

午前

7時 駐車場係は配置についている。

8時 続々と係員が集合。

8時30分 模擬店の準備。事務室に

工具などを借りに来る係員が

ひつきりなし。

9時 ポップコーン製造機やホットプレートの電源が足りない。

木田余公民館内のコンセントから電源をひかせてもらう事で解決。

10時 文化祭開会。

10時10分 模擬店販売開始。

10時30分 「つちまる」にトラブル発生。

11時 農産物はほぼ完売。

11時30分 蕎麦は列が途切れない。おもち販売も好調。綿あめ、ポップコーンも人気。仕入れを増やした煮イカも売れ行き好調。チャレンジクラブの子ども達の甲高い威勢の良い声がお祭りを盛り上げる。

11時30分 若松青年会の方の奮闘（断線していた箇所のハンダダ

付け）により復活した「つちまる」が登場し、子ども達の人気を集める。

正午

午後

12時50分 ステージで午後の部が開始。

1時 農産物販売は終了、各模擬店も品物がなくなりつつあり、閉店に向かっている。

2時 芸能大会終了後、羽生委員長による「閉会の挨拶」、同時に撤収の号令。

4時 撤収を終えて反省会へ。

4時30分 反省会終了。
おつかれ様でした。

私達のグループは、それぞれのグループで活動していた写真を愛好する者達が、組織を拡大して本格的な写真グループを結成し、会員相互の親睦、友好、個性を尊重した感動を伝える写真の創作活動を目的として平成十二年十二月に発足しました。現在十五名で活動しております。

以来、毎月の例会を二中地区公民館で実施しています。

会員は、各自テーマを決め、それに基づいて作品作りを行ない月例会に持参し、撮影の意図、データ等を発表し、相互に意見を出し合い研修を深めています。

又、年に数回（県内、富士五湖周辺等関東甲信越地方）日帰り、宿泊撮影会を行っています。

作品発表の場としては二中地区公民館文化祭への参加の他、県つくば美術館でのグループ展の開催（昨年度第十二回になります）筑波銀行口ビー展、市美術展への出品等です。

フォトグループ「いずみ」
井上 正浩

昭子

農産物提供者御芳名

※順不同 敬称略

◆木田余東

今泉 重徳
松浦 将夫
渡部 芳治
岩瀬 常一

鈴木 正男
坂井 昇
鳥羽 久良
羽成 照昭

松浦 恒一
殿岡 一男
吉田 信茂

山本 悅子
山本 衛

久松 武治
松浦 光一
久松 良次
木田余中
小野 忠一
久松 正人



料理同好会

佐藤 昭子

私達二中地区料理同好会は公民館が出来た時に講座として始まり、同

◆木田余西
小野 忠一

久松 正人



好会になりました。二十数年にもなりますので、現在の会員は十名程ですが、月に一度毎回いろいろな料理を作り、試食をしながら楽しくおしゃべりをして長い間続いています。

公民館祭りには、焼きそばを作つて売ります。前日から準備をし、当日は朝早くから作り始め、十時頃から販売を始め百食ちょっとを一時間位で完売してしまいます。毎年やつているのでみんな手際よく、仕事を分担してテキパキと仕事をかたづけていきます。二中地区公民館祭りはいつもお天気にめぐまれ、雨に降られて困った思いはありません。

地域の人達がたくさん集まり、あちこちで「あら久しぶり、元気だつた」という声が聞こええてきます。売店も芸能大会もたくさん出て、とてもにぎやかで、皆にこにこしてとても良い一日だったと思います。

接待係としての手伝いは、十四、五名の方々と当日の昼食時の接待、そしてチャレンジの子供達の販売品のじやがもち作りです。今年はスイートポテト作りも加わり、前日よりじやがいも40キロ、さつまいもをゆで、合計610個を作りあげました。



二十五日当日は早くからじやがもち、スイートポテトを焼き、フランクフルト焼きも入り、皆さん大汗をかきながらの作業でした。日頃交流の少ない方々との共同作業は楽しくもあり又大変でしたが、チャレンジの子供達の大きな呼びこみと販売する姿に疲れもとんだ気がしました。

接待係になられた方のチームワークの良さはさすがベテラン揃いで、無事に役を果たす事が出来ました。ありがとうございました。どう御座りました。二日間どうもお疲れさまでした。

毎年行われる文化祭は楽しみでした。

接待係 鈴木 任子

文化祭にて

同好会「陶芸教室」は、つくば焼創設者・都賀先生の指導の下に当公

民館で月一回活動しています。
作品作りは手捻りで、統一した課題はなく、つぼ等の花器を作る人、皿や鉢等の生活雑器を作る人、茶碗等、茶道具を作る人等々、各自がその日に作りたい物に取り組んでいます。

各自の作品成果については、作陶の途中や窯出しの時に先生を囲んで評価し合って、次の作品作りに反映しております。

文化祭には、同好会発足時より作品を展示させていただき、日頃の活動の成果発表の場にさせていただいている

これからも文化祭には積極的に参

文化祭への展示

陶芸教室

◆木田余沖

中島 喜一	小林 徹	野口 憲一	岡田 明
小野 和子	高原 薫	天谷 了子	小野 丹生
黒田 茂夫	小野 武司	遠藤 繁	小野 芳夫
天谷 博司	小野 俊之	柳澤 孝雄	小野 俊雄

◆西真鍋

須藤 恵一	岩浪 信一	塙本 たけ	塙本 進	羽方 文弥	岩浪 英一	塙 塙	海老原 一郎
小野 一男	小野 一男	小野 一男	柳澤 朝子	柳澤 孝雄	柳澤 孝雄	柳澤 孝雄	吉田 進
藤崎 武男	藤崎 武男	藤崎 武男	柳澤 孝雄	柳澤 孝雄	柳澤 孝雄	柳澤 孝雄	吉田 進

◆殿里東

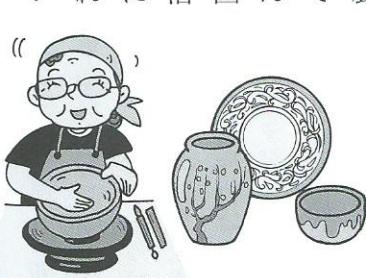
◆東真鍋

菊田 忠良	鈴木 寛治	菊田 泰弘	吉田 進	菊田 恒雄	菊田 保男
塙 一郎	塙 忠雄	泰弘	一郎	恒雄	明
柳澤 朝子	柳澤 孝雄				
柳澤 孝雄					

◆殿里西

岡田 文男	岡田 小沼	岡田 豊水
岡田 一雄	岡田 一雄	岡田 清
岡田 大塚	岡田 大塚	岡田 照男

孝雄	政雄
清	



加し、作品展示等を通して地域の皆さんとの交流を図り、公民館活動の活性化にお役に立てればと思っていました。

二中地区市民委員会

各部の活動

スポーツ健康部 大金 照美

平成二十四年度の行事は文化祭、健康第一バスターによるハイキングに積極的に協力参加する事を主とした。

また、例年通り、二中地区体育協会主催の「市民体育祭」、「歩く会」などにラジオ体操にも参加しました。

文化祭は天候にも恵まれ朝早くから大変な賑わいで当部会も八時より準備をし十時十分開始まで大変忙しく煮イカ・甘酒の販売も昨年より多くの販売を目指し、おかげ様で一時過ぎには完売となりお客様の評判も良く楽しい一日でした。

バスハイキング。今年は春秋と初めて年二回実施する事が出来ました。春は花咲く那須つじが丘。満開のつじが丘を二時間コースのハイキング。新緑もとても美しかった。秋は紅葉の日光戦場ヶ原と竜頭の滝のもみじをゆっくり二時間三十分のハイキング。皆楽しそうに歩き、後はゆっくりと温泉で汗を流し、美味しい昼食を取り、一日を過ごす事が



安全部 南川幸之進

一、「防犯パトロール 毎月一回市民会館を中心に二チームに別れて実施。
二、「真鍋の桜を楽しむ集い」の駐車場係として参加。

環境部 大貫 文男

三、年末の交通事故防止県民運動街頭キャンペーンに参加。
四、第二十六回文化祭の準備に参加。最終日は駐車場係として朝七時から誘導を行い、事故もトラブルもなく終了。部員の努力に感謝する次第です。後片付けにも皆様にもぜひご協力ご参加をお願い申し上げます。

五、青色防犯灯巡回車の講習に参加。巡回車の購入については、引き続き関係各方面と接渉中です。ご期待下さい。

六、日頃の活動の反省と今後の事業策定の為、十月初め、懇談会を実施した（シティホテル）。大変有意義な意見交換が出来た。今後の事業について

七、出前講座「放射線と私たちの生活」をテーマとして前回に引き続きパートⅡ開催（講師、茨大名誉教授 高村義親氏）。

生徒に役立つ法律講座の実施、身近なトラブルをとり上げます。安全部の事業に部員のほぼ全員が参加して活動しております。

カーテンを設置しました。また、公園館入口の花壇を整備し、玄関前のブランチーとともに、サルビアとマリーゴールドを植えました。

真鍋小学校の児童の皆さんに描いた「ポイ捨て防止」ポスターを使つて看板を作成しました。

環境部からは、三名の部員が「土浦市環境基本計画推進協議会」のメンバーとして参加しています。協議会の主催で、今年も新治トレーニングセンターにおいて、環境展が開催されました。環境展は、ゴミ処理問題、資源の再利用、霞ヶ浦の水質浄化等を目的として、「ポイ捨て防止」ポスターや様々な資料を展示したり、ゴミ分別ゲームや実験ショー等来場者が参加できる催しもありました。身近な環境問題を知つてもらい、自分たちが出来ることから取り組む大切さを伝えることが出来ました。

「地区環境問題地区懇談会」では各地区の地区長とともに、市役所の環境衛生課の職員の方の説明を聞き、環境問題について話し合いました。

住みやすいまちづくりのため、二中地区の皆様と一緒に活動していくたいと考えております。

福祉部

久松けい子

「福祉の町です二中地区」をスローガンにかけ今年度は、次の様な計画をたて、部員それぞれが協力し新しい融和を図りながら活動してまいりました。

一、研修視察（六月十九日）

静霞園（ユニット型介護施設）

四月一日オープンされたばかりの施設を見学しました。全室個室でそれぞれのライフスタイルに対応し運営されておりました。入所される方々も和気あいあいと話し合い明るくお元気でした。

二、福祉講習会

調理ボランティア養成講座

九月八日には今年度はじめて調理ボランティア養成講座（社協と共催）を実施しました。

地域福祉活動事業として社協が長い間地域に住む高齢者を対象に、月二回地域のボランティアによる手作り弁当を配達しています。その実態をより多くの人々に御理解いただき御協力いただくことが住民の福祉につながると思い実施しました。ふたば会への新規入会者が六名という成果がありました。

三、文化祭における福祉の店への参加。

今年度は社協が実施している「福祉の店」を同一テント内に設けることで販売に協力しました。

今年度も二中地区福祉部恒例の映画鑑賞会を開催します。詳細は7ページで。

文化広報部

仲沼 信之

「やすらぎ」三十六号の発行も無事に終えることができました。文化広報部は大変ですね、と言われますが、参加してみると、新しい発見、友人、知人が増えてきます。

そして、文化広報誌も充実します。一人でも多くの人に読んで頂きたい

と思いながら、みんなで文化広報誌を作っています。私達の願いは、家族や地域の人々が互いに支えあって安心して暮らせる仕組みをつくり豊かな人生を送ることにあります。私たちは、住みよい環境、豊かな心と健康の醸成に微力ながら活動しています。文化広報部員の汗と根気の結晶をお読み下さい。



図書購入基準について

二中地区公民館 館長 浜田 衛

図書の保存、収集及び市民への貸出しを目的とし、広く市内全体をそのサービス地域とする「公共図書館」である市立図書館と、地域にあつて地域の市民のさまざまな活動を支援する「公民館図書室」は自ずとその目的が異なると考えます。

他の市町村に先がけて、公民館に地区の市民活動の拠点としてのコミュニケーションセンター機能を持たせている土浦市の公民館図書室は社会教育的側面ばかりではなく、広く市民活動を支える機能を持たせる必要があります。とはいっても現実は予算制約もあります。とはいえ、現実は予算制約もあって購入できる点数は限られます。平成二十三年度は①人気の高い「本屋大賞」（町の書店員の投票で決める文学賞）の候補作10点。②市庁報誌で毎月紹介される図書館購入新刊本の中から2～3冊を購入し、公民館でも話題の新刊本を読めることで特色を出そうとしました。

しかし、約半年運用の結果、小説以外はほとんど読まれないことがわかりました。そこで二十四年度は「本屋大賞」「直木賞」「芥川賞」「大佛次郎賞」に加えて郷土出身作家（高

野史緒）の作品や話題の事件を扱つたノンフィクションも加えました。

また料理やガーデニング等の実用書や児童書の他にコミックも対象とすると共に、市立図書館で貸出しや予約点数の多いものも予算の許す範囲で購入しました。暫くこの基準で運営したいと考えます。

新着図書紹介

（平成24年9月、12月購入分）

◇これだけは知つておきたい
園芸の基礎知識 金田 初代
◇東京プリズン 赤坂 真理
◇親鸞 激動編上・下 五木 寛之
◇濡れた太陽 上・下 前田 司郎
◇冥土めぐり 鹿島田 真希
◇鍵のない夢を見る 辻村 深月

◇関東周辺やまなみ歩き 坂本 勇他
◇ソロモンの偽証（第一部） 宮部 みゆき
◇ちはやふる①～⑯ 末次 由紀

チャレンジクラブの活動

青少年育成部 楠戸 崇雄

青少年育成部は二中地区チャレンジクラブの行事に全て参加し、活動の場を広げています。

旧真鍋駅と旧筑波駅の間を往復するリンリンドサイクリングを行いました。十月二十日、秋晴れの日和で、子ども三十人、大人十数人が意気揚々と旧真鍋駅を出発しました。虫掛や藤沢で休憩をとり、北条の桜並木では、落葉した桜の木に返り咲きの花びらをみつけました。グループは、子ども五人と大人二人で構成され交差点などの危険地点には、大人を配置しました。復路の田土部藤沢間は、フリーサイクリングにしたところ、子どもたちの喜びようは最高でした。午後三時に旧真鍋駅に全員到着し、大きな事故もなく無事楽しい一日を過ごすことができました。

「心の成長」をかみ志見た チャレンジクラブ

二中地区公民館指導員 福田 隆通

チャレンジクラブの活動が十ヶ月を過ぎようとしています。飯ごう炊

飯、霞ヶ浦湖上スクール体験、サイクリング、筑波山登山、文化祭の模擬店など、異年齢集団活動を基本におき、育成部の方々と触れ合いながらいろいろと貴重な経験を積んできました。

そして、チャレンジの子どもたちはいろいろ成長し、特に「心の成長」は子どもたちの言動に表れています。

「〇〇君、がんばれ、あと少しだよ」「つらかったけど、何となく気持ちいいよな!」「何か手伝うことある?」

「このように工夫するともっと上手くいくよ」などの声やつぶやきが聞こえるようになり、班長が後輩のめんどうを見ながらリードし、班同士でも小さな親切や思いやりの気持ちが漂う雰囲気になっていました。

文化祭では「美味しい〇〇ですかがですか!」と大きな声で自ら出前販売し「どれでも100円です!」と、たくましく仲間と声かけ合って販売していました。育成部の方々の「さりげなく、なにげない」見えない所でのタ

イムリーな助言や支援が伺えた文化祭であつたと思います。



二中地区公民館内 【同好会】

記の同好会があります(39団体)。現在、二中地区公民館には、左

興味のある方は、当公民館まで御連絡ください。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

(☎ 824・3588)

〈体育系〉

★パドル体操同好会

★睦友会(太極拳)

★ステップワン(フォーキダンス)

★和功会(太極拳)

★そよかぜフォーキダンス

★土筆会(ヨガ)

★のびのびストレッチング

★リフレッシュ、ヨガクラブ

★ムービングストレッチ

★二中公自力整体同好会

★さわやかフォーキダンス

★モンキーの会(ボクササイズ)

★Lico フラサークル

★TSSクラブ土浦



〈文化系〉

★二中地区蕎麦打ち同好会

★面恋会(面打ち)

★一葉会(絵手紙)

★ハーモニックスゆづゆづ
(ハーモニカ)

★きたまり洋裁サークル

★遊画会(油絵)

★パン作り同好会

★料理同好会

★琴友会

★吾亦紅俳句会

★盆草会

★いけ花同好会

★陶芸教室

★二中地区写真同好会

★二中地区カラオケ同好会

★スイング(カラオケ)

★花みずき(カラオケ)

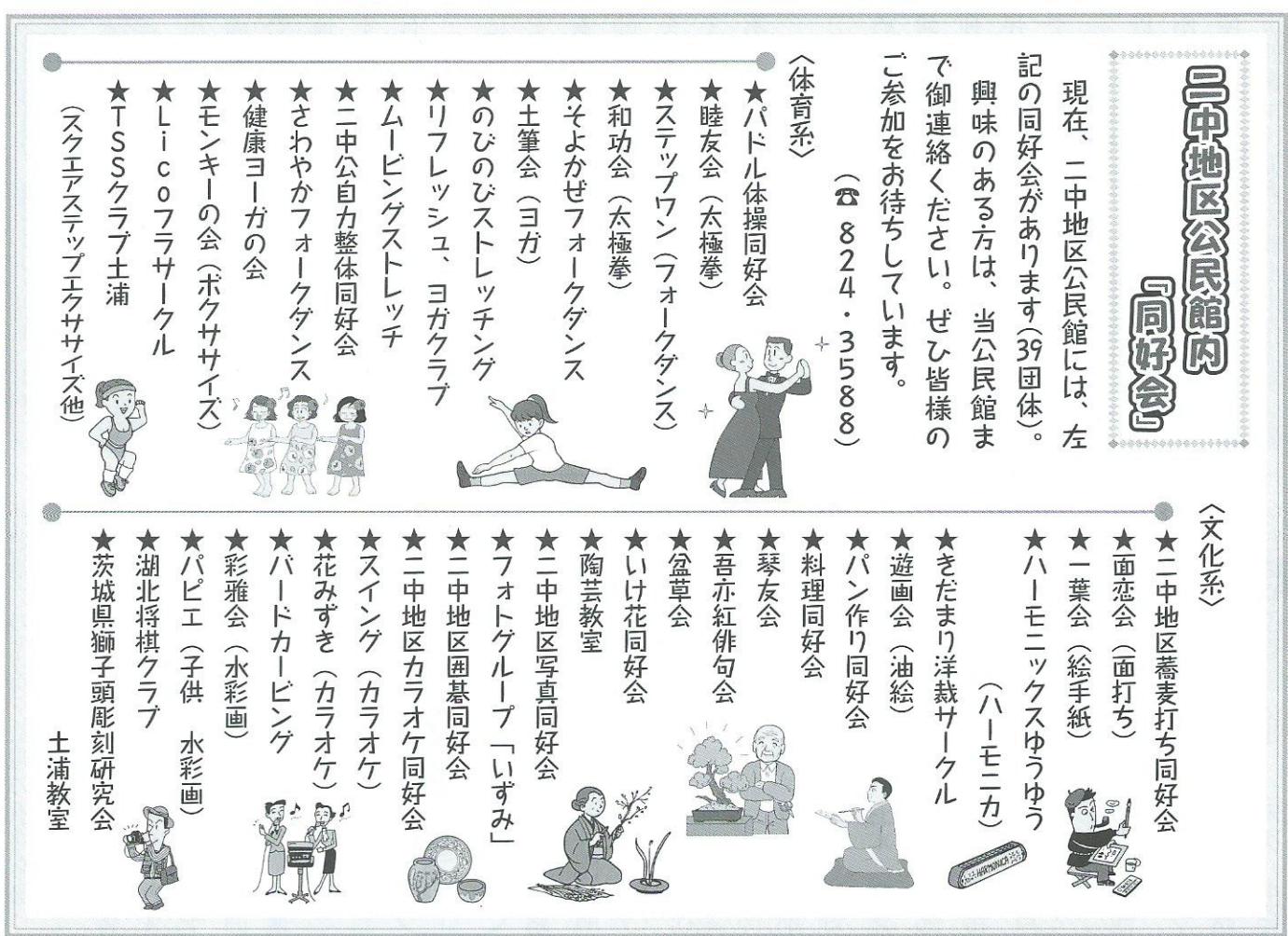
★彩雅会(水彩画)

★パパ工(子供 水彩画)

★湖北将棋クラブ

★茨城県獅子頭彫刻研究会

土浦教室



社協真鍋支部の活動紹介

社協担当 飯塚 喜倫

社会福祉協議会（通称「社協」）は、社会福祉法に規定された、国・都道府県・市区町村単位で組織された民間団体で、地域福祉の推進を目的としています。

その中で、社協真鍋支部は二中地区公民館に事務局を置き、地区長さんや民生委員児童委員さんを中心とした住民の皆様と協力して、誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、福祉の総合相談や様々な小地域福祉活動を行っています。

社協真鍋支部の活動は、皆様からいただいている「社協会費」を財源としています。ここで、活動の一部をご紹介します。

◆福祉の総合相談

常駐の専門相談員（地域ケアコートイネーター）が、子どもから高齢者まで幅広く福祉に関する相談を受け付けています。公民館に相談員を配置しているのは珍しく、土浦市の特色です。

(相談受付時間)
火曜～日曜
(月曜・祝祭日休み)
午前8時30分～午後5時15分



悩み相談



寄せられる相談の中で、最近特に多いのが認知症や精神に障害のある方に関する相談です。病気が理解されず、地域から孤立してしまったり、近所トラブル、家族間の不和等が問題となっています。

社協真鍋支部では、障害があつても、住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活できるように、関係機関だけでなく、可能な限り住民の皆様のご理解とご協力をお願いしています。

最初は緊張気味であった参加の方も、講師の優しく丁寧な指導によつて、和氣あいあいと楽しく調理することができました。お弁当は、みんなでおいしくいただきました。

現在、講座を修了された方がふたば会に入会し、地域の高齢者等のためにいきいきと活動しています。调理ボランティアは随時募集中です。あなたもボランティア活動してみませんか。

◆調理ボランティア養成講座

社協真鍋支部で実施する「宅配型食事サービス事業」のボランティアの養成及び地域のひとり暮らし高齢者等を見守り支える人材の育成を目的として、市民委員会福祉部との共催で、初めて開催しました。

当日は、二中地区在住の方や福祉部員等の参加のもと、ボランティアサークルふたば会会員に講師をお願いし、活動紹介や高齢者等に配達すると想定してお弁当の調理・試食を行いました。

（入場無料）
三月十日（日）午後一時より、二中地区公民館集会室において、映画「ディア・ドクター」（二〇〇九年 監督 西川美和 出演 笑福亭鶴瓶、八千草薫、瑛太ほか）を上映いたします。

内容 医者がひとりもいない山あいの小さな村で起きた失踪事件。ひとつのは「嘘」、ずっと言えずにいたもうひとつのは「嘘」。人は誰もがなにかに成りすまして生きている。その嘘は罪ですか。

真鍋二丁目 桜まつり

四月七日（日）桜まつりに合わせ、真鍋二丁目公民館屋上を十時より十七時まで一般開放いたします。屋上からの新川沿いの桜の眺めは、素晴らしいので、ぜひ足をお運び下さ

お知らせ 福祉映画会

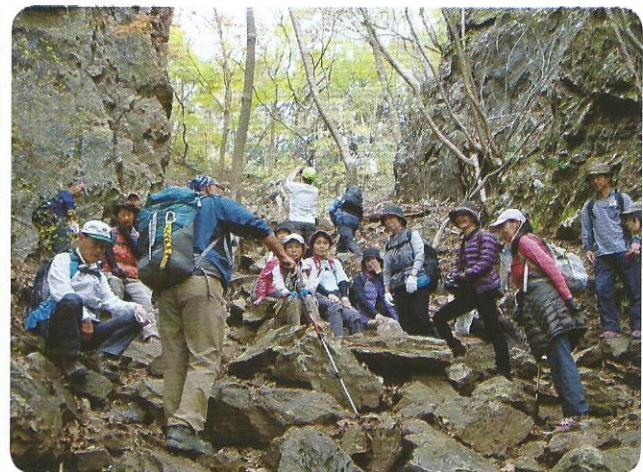
受講生の声

後期
講座

山ガール栃木の低山を行く

川島 美佐子

十月二十八日は、楽しみにしていた佐野市の唐沢山登山でした。公民館を出発してすぐに雲行きがあやしくなり到着後いざ登山開始。小雨が降りはじめ益々強くなり早々に下山。山々の景色もおぼろげで、残念でした。十一月十一日は、宇都宮の古賀志山で前夜の予報は雨、又かと不安でしたが、曇り空でほっとしました。森林公园から赤川ダム脇を通り登山開始です。川面に写る紅葉、川辺を色どる紅葉は絵ハガキのよう。渓谷のせせらぎ、そそり立つ岩、風のささやき、鳥の声、アップダウンを登りつつ「今日の山最高!」と叫んでました。加藤先生御指導の登山の基本、小さな歩幅、ベタ足、登山靴紐の結び方の違い、下山時の膝の使い方、水分補給の大切さ、目からウロコです。中高年の登山が身体にいかに良いかが確認できました。皆さんぜひ挑戦して下さい、山登りを受講できるのは二中公民館だけです。館長さんに感謝です。講座が末長く続く事を願っています。



クリスマスローズ講座に参加して

相沢 美智子

俗称クリスマスローズの正式名称はヘルボルスと云う植物で名前の由来はクリスマスの時期に可憐なバラの様な花を咲かせる事からクリスマスローズと呼ばれる様になったそうです。スライドに写された草原に咲く原種は白・緑・黒と艶やかさは無いが素朴で可憐さを感じましたが現在は品種改良により白・ピンク・イエロー・ブラツク・グリーン・アブリコット・斑点模様、二色咲きと多様化し私が花と思っていた花弁も一回目は三十分ごとに休けいを取りましたが、三回目からは休けい無しで二時間踊り、長い時間動けるよ

では株分けの時、肥料の回数と時期、古い葉の剪定の時期に花芽を切らない様に気をつける事、地植の植え替えは五年に一度、鉢の場合の植え替えは二年に一度は必ずやるのが理想だそうです。知らない事が沢山ありましたが、実のある講座に参加し、知識を得る事が出来た事は本当に良かったと思いました。ガンバル、良い花が咲くまで!!

佐中 ボケかかった脳が少し回復したいと思つています。

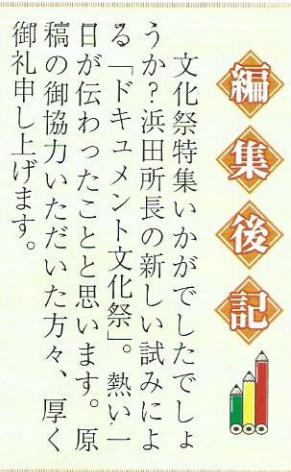
池野 先生の指導がとてもわかりやすいです。



フォーカダンス

受講生 有志

講師は、齊藤芳子先生。木曜日午後一時三十分から三時三十分迄の五回連続講座の感想を述べます。



文化祭特集いかがでしたでしょうか?浜田所長の新しい試みによる「ドキュメント文化祭」。熱い一日が伝わったことだと思います。原稿の御協力いただいた方々、厚く御礼申し上げます。



喜々益 リズムに合わせて動きました。日常生活はリズムを意識した動きはしておらず、珠に三拍子の動きは、とまどいます。

喜々益 リズムに合わせて動きました。日常生活はリズムを意識した動きはしておらず、珠に三拍子の動きは、とまどいます。

喜々益 リズムに合わせて動きました。日常生活はリズムを意識した動きはしておらず、珠に三拍子の動きは、とまどいます。

うになつてビックリ、次回が楽しみです。

北島

初めての事なので、まだ無

我夢中です。早く楽しく踊れる様になれたらと思っております。

佐中 ボケかかった脳が少し回復

してきたか?